



よこはま  
支部だより  
第60号  
2014年 冬

一般社団法人 神奈川県建築士会 横浜支部

THE YOKOHAMA BRANCH, KANAGAWA PREFECTURE SOCIETY OF ARCHITECTS & BUILDING ENGINEERS

新年のごあいさつ 横浜支部長 山成芳直	P1
美術館 建築シリーズ 根津美術館	P2
日帰りバス旅行 箱根	P3
建築士連合会全国大会 島根大会	P4
同好会だより ～テニス～	P5
同好会だより ～ワイン～	P6
同好会だより ～絵画～	P7
寄稿 会員より	P8
委員会だより	P9
横浜市からのお知らせ 賛助会の紹介 委員会だより	P10

明けまして  
おめでとうございます

新年のご挨拶

横浜支部長 山成芳直

新年明けましておめでとうございます。会員、賛助会員の皆様には支部運営に対して格別のご協力を賜りまして誠に有難うございます。

アベノミクス～オリンピック東京開催決定と日本経済浮上へのインパクトがあった昨年ですが、原価高騰、設備投資抑制、増税、産業空洞化、少子高齢化などなど建築業界を取り巻く環境は依然厳しいものと感じている次第です。昨年も本稿で申し上げましたが、そのような中、皆様に本会へ加入いただいている事は大変に有り難く、横浜支部活動が少しでもお役に立てるよう改めて心している次第です。

さて、本業の傍らで支部活動を支えていただいている活動委員も4つの委員会を併せて34名となり、感謝の念に堪えないところです。しかしながら、まだまだ人手が足りない状況が続いており、会員の皆様の活動委員への参加を切にお願いする次第です。

今年度の支部活動も残すところ3か月。2月には神戸～淡路島への建築ツアーも計画しているところです。神戸では地元建築士会との交流も計画されており、楽しみにしているところです。また、新年度の活動計画も各委員会で検討中です。ご要望、ご意見を活動委員に提供いただけましたら助かります。

本年が皆様にとって良い一年となりますようお祈りしております。

# 美術館シリーズ 総務委員会

## ー『美術館シリーズ』 根津美術館見学会 ー

若者で賑わう表参道を背に駅から直進すること8分、周辺の林立する商業ビルとは趣を異にする和風建物が目前に迫る。今回の見学目的とする根津美術館である。正門に一步踏み入れるや、和の世界に浸り始め、さらに玄関に至る長い竹林の通路に導かれていくうちに、自然と美術に臨む気持ちに変化する。例えて云うなら、神社なら手水(ちょうず)、茶会の躰(つくばい)に似る。

今回はやや汗ばむが絶好の秋晴れに恵まれた9月28日(土)に開催された。とにかく、裏方の要素の強い、総務委員会の主催。通常の事業活動に飽き足らず、「何か事業を独自でできないか」の提案に多くが賛同し、新国立美術館(六本木)を見学をしたのが、最初だった(平成19年3月)。その後、「美術館シリーズ」として横須賀市立、近代(葉山)、近代(鎌倉)、原、五島を経て、7回目の見学会となった。回を重ねるごとに充実し、参加数も増え、今回33名を募った。

まず、美術館(鈴木管理部次長)、隈研吾建築都市設計事務所(斉川主任技師)、施工の清水建設(磯田所長)の概要説明を受け、館内と屋外庭園を見学した。長年の懸案だった、財団(美術館)の大改修実施への決断を基に、計画が始まり、3年に及ぶ施工を経て、平成21年に竣工した。この建物の特徴は鉄骨造でありながら、全体が和風家屋の造りである。その覆いかぶさるような大きな屋根は日差しから展示物を守るためでもあり、反対に鑑賞者側からすれば、広く庭園を見渡せるよう柱を細く(100×300の無垢)している。それに、先ほど述べた正門から玄関までのアプローチである。

省エネに関しても、太陽パネルや展示室の専用LEDなど、現代の技術を最大限に駆使している。17,000㎡と広大な庭園の改修工事は別途発注だが、全体計画に組み込まれた。防犯上、以前のように開放はされなくなったが、この大都会の中において、この庭園は貴重なオアシスだ。また、園内にある4つの茶室へはいつでも階段を使わずして辿り着けられる。

視察後の懇親会は近くのレストランでワインと共に和食を口にしながら、講師を交え、和やかな時間を過ごした。



解散後は再び、美術館に舞い戻り、庭園内の喫茶『NEZU CAFE』で歓談したり、『中世の水墨画』展を鑑賞したり、思い思いに充実した一日を楽しんだ。

(記；総務委員会 長井邦夫)

## 日帰りバス旅行 厚生委員会

先日、勇気を出して？厚生委員会主催の日帰り旅行に初参加しました。

最初に訪れたのは、隈研吾設計の 小田原ビル。

こういう団体は初めてだよと、隈氏と30年来の友人だという理事長さんが、打ち明け話をして下さったのがとても興味深いものでした。

特に、アルミダイキャスト製の凝ったパネルと水遣りの壁面緑化システムは、枯れない植物の選定と害虫発生の悩みと窓ガラス面の汚れ付着という、費用も含めて維持管理の難しさを、施主様代表として私達に投げ掛けられた命題であり、困ったよと零しながらもどこか嬉しそうな理解ある施主に恵まれることの、羨ましさを、恐らくその場にいた誰もが感じたのではないのでしょうか。内輪話はまた楽しいものです。

次はバスで箱根の大涌谷へ移動。

一部故障で1区間しかロープウェーにのりませんでしたが、紅葉と硫黄の谷と富士山の贅沢な景色に恵まれ、それぞれが各自の日頃の行いの良さ？に感謝でした。

箱根ホテルでのランチbuffet。当初の参加人数から減ったので入れた個室でゆっくりとバイキングを十二分に頂きました（きつと元が取れましたね！）。

腹ごなしの自由散策時間に関所や箱根神社参拝を挟み、移動。

今回私の参加目的だった、御殿場の東山の 旧岸邸 へ。昭和44年築。

昭和の香り豊かなモダン和風で、私の見た吉田五十八設計作品では、もしかすると一番好みかもしれません。一見普通そうなデザインの中にイツヤらしさを探すのも楽しみでした。

ファサードや居間の引き込み建具、空間デザインにとどまらず、キッチン周りの防火戸やトイレまで及ぶ呼出ボタンシステム（当時のホームオートメーション）に改めて感心しました。

併設？している とらや工房 は内藤廣設計。緩やかに弧を描く建物は 旧岸邸 へのアプローチでもあり、前庭を挟み格好の撮影場所でもあります。

程よく日も落ちてきて、庭から望む平屋の屋根ラインが美しいのでした。

今回一人参加なのでせめてはぐれないように、と少々緊張しいの出発でしたが、道中、共有する景色や場面にてメンバーのいろんな方に自然に話し掛けて頂き、帰りの車中ではお疲れ様一杯もあり、最後まで飽きることがなく至れり尽くせりの感の旅行でした。

委員、幹事の皆様に感謝！また是非参加させていただきたいと存じます。



茶谷亜矢

## 納涼会 厚生委員会

### 夏の納涼会

今年も恒例の建築士会横浜支部 夏の納涼会が9月6日行われました。9月に入っても相変わらず暑い日が続いており、一仕事終えたら、まずビールという日でした。

今年は、馬車道の桜木町よりにある、横浜地ビールのお店、厩の食卓を会場として開かれました。

39名の参加を得て、楽しいひとときを過ごすことが出来、お店の一階で実際に作っている何種類かのビールが飲み放題。

各自がいろいろ飲み比べ、気に入ったビールを飲み、存分にビールを堪能しました。



## 全国大会 しまね

### 第56回建築士会全国大会「しまね大会」

神集う國しまねすべてを引き寄せ縁結ぶ  
「ものづくり」の原点を見つめる

#### \*連合会賞表彰\*

“天高く馬肥ゆる秋“平成25年10月19日 くにびきメッセにて、午後3時より大会式典が行われました。

式典のオープニングでは、勇壮で華麗な郷土芸能である石見神楽（大蛇）が、舞台狭しと舞われ、圧巻でした。

式典では、士会活動の功労者に連合会会長賞が授与されました。

神奈川県建築士会からは、金子 孝さん、坂東 保則さん、森山 恒夫さん、田中 克樹さんが表彰されました。また、伝統的技能者表彰は、棟梁の松本 高広さんでした。受賞されました皆様、おめでとうございます。今後も、皆様のご活躍を期待しております。



2013. 10. 20

同好会だより 皆様のご参加をお待ちしております！



## テニス同好会



平成25年7月13日(土)

PM3:00~7:00

金沢産業振興センター A面 参加7名

今回は久しぶりの参加者もあり、曇りの天気でしたが、風が無く湿度が高かった

ので、皆さんバテバテの様子でした。

でも、ゲームには熱が入っていました。



平成25年8月10日(土) PM3:00~7:00

金沢産業振興センター B面

参加7名

今回も4時間の定例会でした。

40度近い気温はテニスには

応えました。皆さん、熱中症には注意して、十分な水分補給と休憩を取りながら、プレー



平成25年8月24日(土)

PM5:00~7:00

金沢産業振興センター A・B面

参加9名

曇り空でテニスにはちょうど良い天候

でした。今回は2面で2時間の定例会でしたが、皆さん休憩する間もなくゲームに燃えていました。



平成25年9月14日(土) PM3:

00~7:00 金沢産業振興セン

ターA面 参加10名

台風が接近している中、今日

しかないという良い天気に恵まれました。少々蒸し暑かったですが、ゲーム中心に盛り上がり



平成25年9月28日(土) PM3:00~7:00

場所: 金沢産業振興センターB面 参加10名

秋めいてきて、テニスをするのにはちょうど良い気候になりました。前半は1面、後半は2面での4時間の定例会はゲーム主体のとても充実した定例会となりました。



平成25年10月12日(土) PM3:00~7:00

金沢産業振興センターテニスコートB面参加8名

テニスにはちょうど良い季節になってきました。久しぶりの参加者もあり、今回も4時間の定例会は、ゲーム中心で気持ちの良い汗をかきました。



平成25年10月26日(土) PM5:00~7:00

金沢産業振興センターテニスコートA・B面

当日は台風後の影響で午後まで雨が残っていましたが、ラッキーなことに夕方にはコートが使える状態になりました。

初参加の女性と何年かぶりの参加者、これをきっかけにテニス再開となれば良いのですが・・・。今回雨の為中止になりましたが、他団体からテニス大会のお誘いがありました。長く続けていると良いこともありますね



## テニス同好会会員募集中！

テニスに関心のある方どなたでも参加可能です。特に女性大歓迎！お気軽に連絡下さい。

定例会は原則第2・4土曜日を予定していますが、予約状況により異なりますのでお問い合わせください。

ご連絡の際はメールの場合でもお名前、連絡先の記入をお願いします。

連絡先: 玉野 045-894-8452 FAX893-6614



# ワイン同好会

第35回 東京ガス「横浜クラブ」にて11月1日開催 藤井利時

昔からブルゴーニュの白、ボルドーの赤と云われているように白（シャルドネ種）ではモンラッシュが最高です。ブルゴーニュの赤（ピノ・ノワール種）は香り、味共に良いものがありますがその割には値が高過ぎます。

一般的にブルゴーニュは家内工業的経営が多く子供達が2人いて親の畠を相続すると規模が1/2になり次の世代は更に1/3、1/4の大きさになり易く大量には出来ず、安定性に欠けます。その為ドメヌ（作り手）によって香り、味がまるで違ってきます。ナポレオンが戦場に大樽のワインを持ち込んだと云われているシャンベルタンでもドメヌが大事になり値もかなり違います。その点ボルドーは小規模のものもありますが大きなシャトーが多く安定しています。ブルゴーニュの今回の白では番外'10が力強くしっかりしていて良かったと思います。次が'11のラ・トゥフェラ'10が良。3のピノ・ノワール'09赤はバランスが余り良くなかったようです。ブルゴーニュの単一のブドウ種（白はシャルドネ赤はピノ・ノワール）に対してボルドーは種々のブドウを混ぜて造ります。

メドックではカベルネ・ソーヴィニオンを中心にしてメルロー、カベルネ・フラン種等を混ぜるのが多くサンテミリオンではメルロー（メルローのみのも有る）を中心にしてカベルネ・ソーヴィニオン等を混ぜて造られます。

今回のボルドーではメドック地域のみだったのでカベルネ・ソーヴィニオンが中心になっています。そのせいかタンニンが強く未だ渋みが残っていました（一般に良くて若いうちは残る）。今回のボルドーでは5のシャトー・コス・ラボリー'09が香り、まろやかさ、酸味、渋み（少々有るが）等のバランスが良く一番に上げたいと思います。4のラグランジュ'09のセカンドは木が未だ若いせいにか力強さに欠け、香りも少ないがリーズナブルです。

6のグラン・ピュイ・デュカス'09は有名だが酸味が出て保存（販売店の）に問題があったのかも知れません。7のシャス・スプリー'07は酸敗が有り劣化が始まっているようです。'09のように良い年のワインは渋みが強いので甘味、酸味、香り等のバランスが良くなるには年数が掛かります。同じワインでも開栓してかなりの差が有るのも事実です。ワインのテイスティングの一つに同じヴィンテージで別の品を飲む、例えば贅沢にもボルドーの五大シャトーであるシャトー・ラフィット、ラツール、マルゴー、オーブリオン、ムートン・ロートシルトの2000年等のビッグ・ヴィンテージ（ビッグ・ヴィンテージでなくても可）を飲む水平テイスティングや、シャトー・ラツールの2000年、'03、'05、'06、'09等のヴィンテージを飲む垂直テイスティングが有ります。今回は長井さんが'09、'10（ブルゴーニュ、ボルドー共当り年）と非常に出来の良い年のワインを揃えて下さり感謝しております。



# 絵画同好会

初夏のスケッチ会 6月8日 (参加4名)

〔和の建築美と日本画の鑑賞〕今回は世田谷区上野毛にある五島美術館にて吉田五十八の設計による本館（2010年に開館50周年を迎え改修された）を見学、「近代の日本画展」にて数々の名品を鑑賞し、午後からは梅雨の合間にすっかり晴れ上がった空の下、6000坪の庭園内でのスケッチ会を催しました。

五島美術館は昭和35年に開館、東京急行電鉄の元会長、五島慶太が、自らの所蔵品を広く公開することが宿願であり、精力的にその準備を進めていきましたが、開館を目前にして完成した姿を目にすることなく世を去りました。



高橋会員の作品



藤井会員の作品



石田会員の作品

## 寄稿 会員より

### ● 「いのちを守る森の防潮堤」 ●

2007年、横浜支部総会で記念講演で弁を振った3000万本の木を植える男、植物生態学者「宮脇明」先生の震災復興への挑戦です。

東日本大震災の直後に現地入りをし、直に東北太平洋沿岸に300キロメートルに渡る瓦礫を活かした本物の森による「森の防潮堤」を内閣府に提案しました。

2012年3月、仙台でのシンポジウムでは被災地行政・支援する民間企業を集め発した森の防潮堤は、宮城県議会では超党派による全員一致の取り組みとなりました。

2012年5月には岩沼市において「千年希望の丘、実験の森（植樹1万本）」2013年6月「第1回千年希望の丘（植樹3万本）」、仙台湾南部海岸堤防においては「岩沼海岸植樹祭（植樹7千本）」。国家プロジェクトとして瓦礫を活かしたコンクリート防波堤に土をかぶせて植樹する日本初・世界初のハイブリッド防波堤として実現しました。

次に襲う津波に備え、愛する未来の子供たちを守る為に、すでに4000万本の木を植える偉大な85歳の男は、あと25年木を植え続ける気迫と衰えた気配を疑うことなく活動を続けています。私も微力ながらこの希望に協力しています。（つづく）

### 近代建築の幕開けと横須賀 講演を聴いて

（一社）神奈川県建築士会活動交流会・よこすか大会に参加し、横須賀の郷土歴史家・山本詔一氏と防衛大学校准教授・正垣孝晴氏の講演を聴いて、横須賀と日本の近代化における横須賀の重要性について、認識を新たにしたい士会員の方は多かったのではないのでしょうか。

ヴェルニー公園に名を残すヴェルニー氏たちが、実は「日本での初めて」を山ほど残していったこと。初めての「遅刻」、初めての日曜日、初めての運動会、初めての月給制などなど。また、世界一周して見聞を広げ、横須賀の近代化に尽力した小栗上野介の人物像と、彼の残した功績について。山本氏はテーマを近代建築だけに絞ることなく、横須賀の150年の歴史と先進性を、まるで自分で見てきたかのごとく、聴く人の誰にとっても興味深くひもといてくれました。

続く正垣氏は、ほとんど山本氏に先にお話しされちゃいましたが、と頭を掻きつつ、横須賀造船所とドライドック、そして技術の近代化の歩みを中心にお話しされました。技術的でかつ専門的な講演内容のなか、ナウマン象の化石が初めて発見されたのは明治時代の横須賀だったということ、その場所が米軍基地内の3号ドックだったということ、発見者である当時東京帝国大学のお雇い教授だった地質学者ナウマン氏の名前から命名されたことなど、地盤工学の研究者ならではの意外でトリビアな逸話に、講演時間は瞬く間に過ぎて、気が付けば30分程の時間オーバー。正垣先生のまだまだ話し足りない様子が、横須賀の歴史の奥深さを象徴していると思えた講演でした。

煉瓦、製鉄と、近代建築の幕開けを支えた様々な技術のふるさとが横須賀であること。横須賀で育まれた建築技術と歴史の伝承に尽力されている横須賀支部の士会員の方々の努力に敬意をはらいつつ、ほのかな汐の香のなか、会場を後にしました。

横浜支部 小笠原 泉



横須賀市のスカリン



郷土歴史家山本詔一氏



防衛大学校准教授正垣孝晴氏



# お知らせ 横浜支部から 横浜市から

## 総務委員会だより

9月28日(土)に開催された美術館見学会は報告のとおり、30名を超える参加を募り、感謝申し上げます。

さて、来年5月の総会の日程も決まり、講演の依頼や役員改選など、準備に取りかかっています。会場は情報文化センターです。

## 技術・情報委員会だより

### 「(仮称)神戸歴史的建造物・街並みを巡る旅」 ＜歴史地区と阪神・淡路大震災後18年目の神戸・淡路島を訪ねる＞

当委員会では、今回京都、奈良に引き続き平成25年度研修旅行についてご案内いたします。

1. 研修日程 平成26年2月13日(木) 新横浜：集合 出発予定(AM6:45)  
平成26年2月15日(土) 新横浜：解散 到着予定(pm5:34)
2. 研修場所 神戸/淡路島
3. 研修内容 2/13 ・①旧居留地周辺、新港地区視察 or ②北野町山本通伝建地区周辺視察  
・懇親会(総務委員会主催)：兵庫県建築士会 有志との情報交換  
\*希望者別に班割りを検討します。  
2/14 淡路島 北淡震災記念公園、本福寺水御堂、淡路夢舞台(安藤忠雄)  
戦没学徒記念 若人の広場(丹下健三) 知られざる名建築&廃墟 など  
2/15 人と防災未来センター(全員) 北野町、旧居留地、山邑邸 など自由行動  
\*詳細は11月10日現在調整、検討中です。
4. 参加費 ￥35,000- / 1人 程度  
〔宿泊費(朝食込み)、交通費(新幹線代、大型バス代含む)〕但し昼食+夕食代、懇親会費、各種入場料、移動費用及びお土産代など個人的なものは含みません。  
※参加費とは別に士会補助予定有り

現在、このような内容で企画を進めており、近日中には申し込みを広報します。皆様是非ご参加下さい

## 厚生委員会だより

厚生委員会は楽しい企画を沢山催しています。

夏には、恒例のビアパーティ、夜風に吹かれながら屋形船の船上でグラスを傾け、またある時はJAZZライブを聞きながらお酒を楽しむ。

秋の日帰りバス旅行は、名建築を訪ねながら、ランチが特に美味しいと評判です。一度参加すると、楽しさがわかります。

各同好会の活動も盛んです、おいしいワインを飲みながら、おしゃべりが楽しい  
ワイン同好会。

スポーツ好きな人は、テニス同好会や、ゴルフ同好会。

絵に興味がある人は、美術館をめぐり、スケッチやデッサンを楽しむ  
絵画同好会。

暇な人も、そうでない人も、

我々厚生委員は、沢山の会員の参加をお待ちしています。

## 横浜市建築局からのお知らせ

<バリアフリーの基準の解説書『施設整備マニュアル』の公開について>

「建築物バリアフリー条例」に代わり平成26年1月1日より施行される「改正横浜市福祉のまちづくり条例及び同施行規則」の『施設整備マニュアル』を下記URLに公開しました。設計する際に御活用いただければと思います。

<http://www.city.yokohama.lg.jp/kenko/chifuku/fukumachi/jorei/06.html>



<宅地造成に関する工事の安全確保等に係る基準の改定について>

平成26年1月1日より、宅地造成に関する工事の安全確保等を目的とした、宅地造成許可基準の改定及び開発許可基準の改定を行います。特に、一戸建ての住宅等の建築を目的とした斜面地利用の建築物で、基礎と一体の土留め構造物を築造する場合には、原則として宅地造成許可が必要となりますので、ご注意ください。

最新の情報は、建築局宅地企画課のホームページ

<http://www.city.yokohama.lg.jp/kenchiku/guid/takuchi/news/ki jun/takuzo/h25/>

をご覧ください。

(建築局宅地審査課045-210-9813、調整区域課045-210-9895)

### 横浜支部賛助会一覧

(株)渡辺組 総合建設業 (代)渡邊一郎

東京ガス(株)神奈川都市エネルギー部 (代)権山豊久

不二物産(株) 金属建具加工販売 (代)斎田徳次郎

ヤマト建設 総合建設業 (代)小林清一

横浜エレベータ(株) エレベーター販売 (代)勝 治雄

(株)カンディハウスヨコハマ 家具製造販売 (代)藤田哲也

(株)キクシマ 総合建設業 (代)菊嶋秀生

(株)ヒライデ 印刷業 (代)平出伸二

(株)星 木材銘木販売 (代)星雅巳

順不同

## 広報委員会だより

会報作成ソフトを新規に導入、使用し始めて今回で2号目になります。前号はスタッフがソフトに慣れないこともありかなりの時間を費やしてしまいましたが、今回は多少使い慣れたせいか前回ほどの時間はかからなかったようです。このソフトが便利なのか僕にはまだよくわかりませんが、回を重ねるうちにもっと慣れてくるでしょうし手際よく短時間に発行できるようになると思います、  
というかそれを期待しております。

落合 博



編集 広報委員会

発行 一般社団法人神奈川建築士会 横浜支部事務局

231-0011

神奈川県横浜市中区太田町2丁目22 神奈川県建設会館 5F

TEL : 045-201-1284 FAX : 045-201-0784

★広報委員★

落合博・玉野直美・丸山幸一・小野寺安紀子  
雨森隆子・吉原直美・宮田欣哉・加藤高明